

コロナ禍における生涯学習の取り組みについて

稚内市は「いつでも」、「だれでも」、「気軽に」をコンセプトに、生涯学習の新たな拠点として、平成30年度に稚内市生涯学習総合支援センター（愛称：風～る わっかない）をオープンしました。

本施設には、陶芸室、木工室、調理室、音楽室、軽体育室、研修室を完備しており、様々なサークル活動や地域コミュニティ活動などで利用されています。

また、「教育研究所」や「教育相談所」といった学校教育関係機関、青少年の非行防止及び、子どもたちの安心と安全を守る活動を行う「子ども安全育成センター」といった社会教育関係機関が入った複合的施設にもなっており、教育経験豊かな人材が揃っています。

特に生涯学習の場としては、生涯学習推進アドバイザーを中心に、子どもからお年寄りまで幅広い年代の方々に対応した学習メニュー等を行っています。

※主なサークル活動

- ・バレエ ・ダンス ・書道 ・陶芸 ・フラワーアレンジメント
- ・英会話 ・合唱 ・料理 ・ヨガ ・楽器演奏

■施設利用者

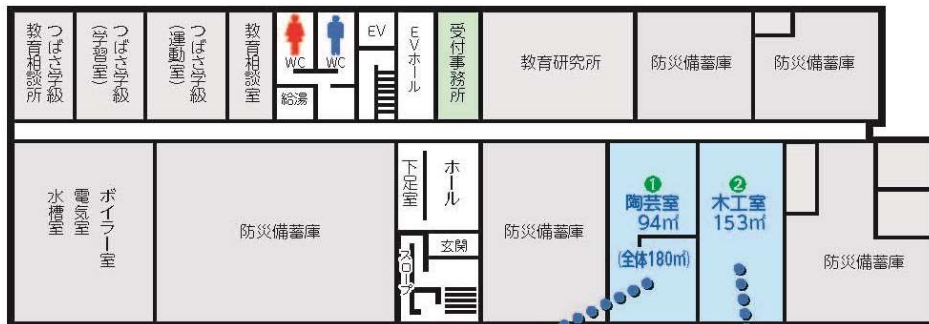
H30 目標 15,000 人 ⇒ 実績 16,642 人

R 1 目標 18,000 人 ⇒ 実績 19,298 人



1F

平面图



成形から本焼きまで一連の陶芸体験ができます。



金づちや糸のこ、電動ドリルなどの工具を備えています。

2F

平面图



小研修室
この施設で一番小さい部屋です。会議や勉強会などにご利用ください。

調理台が4つあります。
料理やお菓子づくりができます。



グランドピアノを設置しています。会議室としても音楽ホールとしても利用いただけます。

大研修室・研修室2
サークル活動やセミナー、講演会などにご利用ください。

合唱練習や会議などに
ご利用ください。



壁に2m×8mの鏡がついています。ダンスやレクリエーションなどにも！
※ ボールの使用はできません。



カーペット敷きの部屋です。
椅子も使用できます。



待ち合わせや自主学習など
譲り合いながら自由にご利用
ください。※無料です。



黒板が2つあります。
机や椅子は自由にレイアウト
してください。

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、本施設は年度当初より長期休館を余儀なくされ、思うような施設運営ができない状況でしたが、十分なコロナ対策を徹底しながら、以下の事業を実施してきています。

●いきいき大学の開校（高齢者大学）

これまで、稚内市は地区（声問地区）に高齢者大学を開設し、生涯学習機会（学び）の場を提供してきました。

本施設のオープンをきっかけに、令和元年度より、市内全域を対象とした高齢者大学、「いきいき大学」を開設しました。

本事業の初年度おける受講者は5名と目標数には届きませんでしたが、令和2年度は、受講者の横のつながりなどから10名の受講と順調に学生数を増やす結果となりました。

◇声問地区町内会（楽生大学）



（室内ゲーム：輪投げ）



（どら焼き作り）

◇いきいき大学



（そば打ち体験）



（簡単ストレッチ）

●子どもの広場

小学生（低、中、高 3学年に区分し実施）を対象に、前期（6～8月）と後期（10～12月）に分け、自然・社会・生活・文化等の体験講座を実施し、子どもたちの豊かな感性を広げる場となっています。

本体験講座では、調理や木工の講座が根強い人気となっています。



（うどん作り）



（リトルチェア作り）



（つるし飾り作り）



（どら焼き作り）



（壁掛けシェルフ作り）



（マリンドーム作り）

●市民講座

社会教育課と連携して、生涯学習推進アドバイザーや各種サークル団体・個人、社会教育所管施設職員などを講師とし、様々な講座を前期（6～8月）後期（10～12月）に分け開催しています。

特に、昨今の健康ブームから「体幹トレーニング」や「ヨガ」などスポーツ施設を利用した運動系講座は、定員を抽選するほど人気ぶりとなっており、「風～るわっかない」を利用した講座では、「陶芸教室」や「料理教室」が人気の講座となっています。



（ヨガ）



（家庭料理教室）



（陶芸教室）



（親子で簡単燻製作り）

社会全体が新型コロナウイルス感染症とともに生活をしていかなければならない状況にある中、これまでZOOMやWebなどのオンラインを活用しながら会議や研修、講座など、工夫を凝らしながら行っている。

今後における生涯学習の取り組みについても、「何もできないから…」でただこまねいているのではなく、自分たちにできることは何か、取り組んでいく上での課題が何かを見据えて、試行錯誤しながら前向きに活動していきたい。